

入局者自己紹介

天野 沙織

出身大学：
福島県立医科大学
卒業年：
平成 25 年
初期研修病院：
さいたま赤十字病院



平成27年に入局させていただきました天野沙織と申します。

出身大学は福島県立医科大学で、部活は硬式テニスをしていました。最近はめっきり運動をしなくなり、日々の楽しみとしては万歩計で1日何歩歩いたかを寝る前に見ることです。

初期研修はさいたま赤十字病院で2年間研修させていただきました。後期研修1年目は、大学と草加市立病院で半年ずつご指導いただきました。今年は武蔵野赤十字病院で働かせていただいております。

現時点では小児科の中で何を専門にしていきたいのかは定まっておりませんが、諸先生方にたくさんのことを教えていただき、刺激的な毎日を送っています。少しでも早く小児医療に貢献できるように頑張っていく所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

小林 あゆみ

出身大学：
杏林大学
卒業年：
平成 25 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

平成27年に入局させていただきました小林あゆみと申します。平成25年に杏林大学を卒業し、初期研修医は東京医科歯科大学プログラムⅠで1年目は東京医科歯科大学医学部付属病院、2年目は草加市立病院で研修させていただきました。

2年目の草加市立病院では一般小児診療に携わり、たくさんの経験をさせていただいた事が小児科を選ぶ大きなきっかけとなりました。また後期研修1年目は川口市立医療センターで研修させていただき、貴重な症例の経験や、たくさんの素晴らしい先生との出会いがありました。

今年の4月からは東京医科歯科大学付属病院で各専門分野をローテーションさせていただいています。大学病院という市中病院とは異なる環境の中、難しい症例も多く苦悩する日々でしたが、勉強となることが多く、日々成長できている事を実感しながら大変充実した毎日を送っています。

まだまだ未熟者ではありますが、初心を忘れず日々努力していきたいと思いますので今後ともご指導の程お願い申し上げます。

齋藤 洋子

出身大学：
東邦大学

卒業年：
平成 25 年

初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

平成27年度より東京医科歯科大学小児科学教室に入局させていただきました齋藤洋子と申します。

平成25年に東邦大学を卒業し、初期研修は東京医科歯科大学のプログラムとして大森赤十字病院、東京医科歯科大学附属病院で研修を行いました。学生時代から小児医療に興味がありましたが、大学病院で4ヶ月間小児科研修を行う中で、子供たちから日々笑顔を貰うとともに、難治性疾患・稀少疾患の多様さ、奥深さを目の当たりにし、一人でも多くの子を救いたいと入局を決意しました。同期の入局者はみな明るく楽しく真面目で、また先輩方も気さくで優しい方ばかりで、恵まれた環境に身を置けることを有難く感じています。

後期研修では、1年目にJAとりで総合医療センターで上級医の先生方から小児診療のまさに「いろは」からご指導頂きました。先生方の寛大な御心遣いに感謝しながら、多くの臨床経験を積むことができました。現在、2年目の4月からは東京北医療センターで研修させて頂いて居ります。各専門分野の先生に早急に相談できる環境に充実感を覚えると同時に、新しくできた後輩や院内の同輩の存在に刺激を受け、なお一層身の引き締まる思いです。

至らぬ点も多く、ご迷惑ばかりおかけするかと思いますが、本教室の一員として名に恥じぬよう研鑽を積んで参りたいと思いますので、今後ともご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

真保 麻実

出身大学：
群馬大学

卒業年：
平成 25 年

初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム



2015年度入局の真保麻実（しんぼあさみ）と申します。群馬大学を卒業後、東京医科歯科大学の初期研修プログラムに参加し初期研修1年目は東芝病院で、2年目に東京医科歯科大学病院で研修させていただきました。学生の時に選択した市中病院の小児科の実習で子供たちのために頑張る先生方の姿と、感染症をもらいながらも子供たちと楽しく触ったことが印象的ではありましたが、小児科に進むという選択は想像していませんでした。初期研修1年目では小児科に触れる機会なく過ごしましたが、2年目の初めに大学病院の小児科で研修させていただき、希少な基礎疾患をもち様々な背景に置かれている子供たちと、日々全力で子供たちのために治療にあたる小児科の先生方の姿に感銘を受けたこと、その後の研修でも心臓血管外科のローテーションで小児の手術と術後管理に関わらせていただいた経験も大きく、小児科へ進むことを決めました。

卒後3年目に川口市立医療センターの新生児集中治療科で、4年目となるこの4月からは同センターの小児科で勤務させて頂いています。NICU、小児科いずれも経験が全くない状態で飛び込み、御指導頂いている先生方やコメディカルの方々にたくさん助けていただき、温かく見守っていただきながら日々勉強し、さまざまな患者さんやご家族から多くを学ばせていただいています。

まだまだ至らぬ点ばかりですが、子供たちの未来を見据えて子供とご家族を支えることのできる小児科医になれるよう頑張りたいと思います。今後とも御指導のほど宜しくお願いいたします。

田村 友美恵

出身大学：
東京医科歯科大学

卒業年：
平成 25 年

初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム



同窓会の先輩方初めまして。平成27年度に入局させていただきました田村友美恵と申します。

初期研修では、東京医科歯科大学のプログラムに属し、1年目にはJAとりで総合病院で、2年目には東京医科歯科大学附属病院で研修させていただきました。学生時代より小児科医を志していましたが、大学病院で経験した7ヶ月間の小児科研修が自分の予想より遙かに楽しかったため、迷いなく小児科の道を決めることができました。

後期研修1年目には、東京ベイ・浦安市川医療センターで研修を行い、大先輩方から直接ご教示を賜うことができました。2年目の7月より、川口市立医療センターの新生児科で多くの先生方にご指導頂きながら診療させていただいております。

後期研修医になり、ますます小児科という科の良さを実感しています。小児科の魅力として、病態が純粹である点、発達と分けて考えることができない点が挙げられるかと思いますが、疾患頻度が年齢で異なることから考察して疾患の病態について気づかされることが多く、成人診療では気が付かなかった各臓器や酵素、遺伝子の機能に日々感動させられます。また、スタッフと患児のご家族と皆で同じ方向を向くことができる楽しさも予想以上でした。

皆様のような小児科医になれるよう邁進させていただきますので、何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

友田 昂宏

出身大学：
久留米大学

卒業年：
平成 25 年

初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム



私は、東京医科歯科大学初期研修プログラムに参加し、1年目は東京医科歯科大学附属病院、2年目は土浦協同病院で研修させていただきました。

私は生まれも育ちも福岡県で周りに知りあいもおらず、研修当初はとても不安でした。しかし実際には先輩から分け隔てなく熱心な指導をしていただき、また素敵な同期にも巡り会う事ができました。

そのような経験から東京医科歯科大学に入局を決めたのですが、どの科もすばらしく、どこに入局するか本当に迷いました。その中で小児科は、血液検査やレントゲン、造影CTといった侵襲ある検査は必要最低限に止め、何より身体診察に重きをおき、治療の細部までしっかり目を配る姿勢に感銘を受けました。また、研修してきた他の科の知識を決して無駄にすることなく、しっかり活かす事の出来る科なのも魅力の1つでした。

小児科入局した3年目は大学病院で後期研修を1年間行い、普段の診療から教授や准教授を始め多くの先輩方から熱心に指導していただきました。学会に発表させていただく機会や論文を書かせていただく機会も沢山いただき、その準備にも先輩方は多くの時間を割いて私を指導していただきました。

当初は東京でやっていけるか非常に不安でしたが、その不安もいつの間にか吹っ飛び、今では自信を持って、東京医科歯科大学の小児科に入局して良かったと思います。これからもしっかり勉強して、先輩方に指導していただいた様に、後輩達に還元して行こうと思います。まだまだ未熟者ですが、これからもご指導の程よろしくお願いいたします。

野口 優輔

出身大学：

山梨大学

卒業年：

平成 25 年

初期研修病院：

東京医科歯科大学プログラム

平成27年度入局の野口 優輔と申します。この度は自己紹介をさせていただく場をいただきありがとうございます。

自分は高校卒業までを東京都板橋区で過ごし、大学6年間は山梨で学びました。人見知りですが、慣れた人には図々しく話しかける習性があります。高校時代は化学が好きで最初は薬学研究者になりたいと思っていましたが、患者さんと直接関われる医師に魅力を感じて医学部に入りました。小児科医が不足していると聞き、子ども好きだったので自然と小児科を志すようになりました。大学時代は弓道部と天文サークルに所属していました。田舎で大学生活を過ごしたため、車で景色のきれいなところに出かけることが好きになりました。山梨は本当に星が綺麗で八ヶ岳や富士五湖に頻繁に星を見に出かけたのが良き思い出です。また、基礎研究に興味があり薬理学講座に勝手にすみこんで神経細胞の研究をさせてもらっていました。教授がとても気さくな先生で、様々な実験や基礎系の学会を経験させてもらい分子生物学的なものの見方を多少なりとも養うことができたと思っています。

初期研修は土浦協同病院と大学で1年ずつ研修させていただきました。初期研修の2年間で多くの尊敬すべき先生方にお世話になり、医科歯科大学小児科でお世話になろうと決心しました。昨年、今年度と後期研修2年間は再び土浦協同病院で働かせていただいております。

まずは一人前の小児科医になれるよう、一人一人の患者さんを大切にして貪欲に学んでいきます。また、いずれは大学院に進んで患者さんの役に立つ研究にも携わりたいと考えています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。